

松坂屋大阪店
1937(昭和12)年
増築開店

大 大 阪 の 百 貨 店

高島屋東別館
重要文化財指定
記念展

高島屋長堀店
1922(大正11)年
新築開店

DEPARTMENT
STORES IN
GREAT OSAKA

【第Ⅰ部】

百貨店建築
の登場

【第Ⅱ部】

大 大 阪
モダニズム

百貨ととのふ
「大阪の新名所」

2022年

3月5日[土]—7月4日[月]

【第Ⅰ部】 3月5日[土]—5月9日[月]

【第Ⅱ部】 5月21日[土]—7月4日[月]

※会期は変更となる場合がございます

開館時間 = 10:00-17:00(入館は16:30まで)

会場 =
高島屋史料館
企画展示室

休館日 = 火・水曜日
5月12日[木]—5月20日[金]は
展示替のため休館
【入館無料】

高島屋史料館

Takashimaya Archives

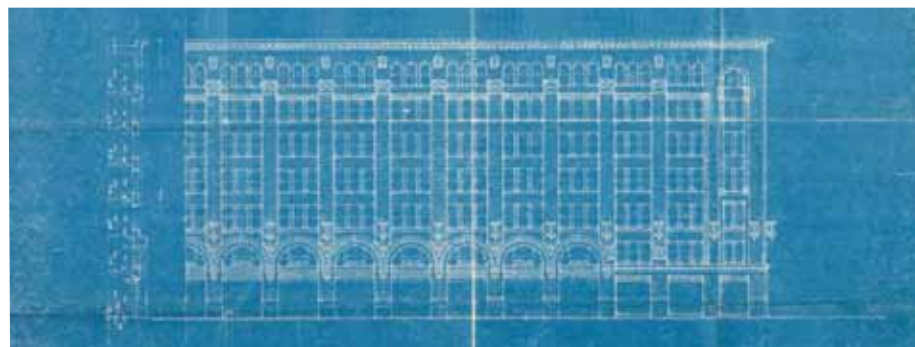
高 Takashimaya

画像提供: J.フロントリテイリング史料館

いまから100年前の1922(大正11)年、高島屋は大阪・堺筋の長堀橋詰に近代ゴシック建築の大型店舗(長堀店)を開店—これが高島屋初の本格的百貨店の誕生でした。当時の堺筋には、三越、白木屋がすでに大店舗を構えており、さらに翌年には松坂屋が開店。市電も走る堺筋は「百貨店通り」と呼ばれ、大阪随一のメインストリートとして繁栄しました。この時期、大阪は人口・面積で日本最大の都市に、世界でも有数の大都市「大大阪」となりました。華やかで活気にあふれた「大大阪時代」の象徴のひとつが、堺筋に建ち並んだ百貨店建築でした。しかし、昭和初年、御堂筋の建設計画が始まると、高島屋が南海店(現大阪店)を開店するなど、在阪百貨店の地図は大きく変化することになりました。近代都市「大大阪」の変貌を百貨店からみつめ直します。

※本展は会期をI部・II部に分け、展示資料を一部入れ替えて構成します。

長堀店屋上から堺筋を望む
北に白木屋・三越が見える
大正末～昭和初期頃



松坂屋大阪店 堺筋側立面図 1935(昭和10)年



高島屋長堀店開店ポスター 1922(大正11)年
高島屋南海店一部開店ポスター 1930(昭和5)年

イベントのご案内

※詳細は
当館ホームページを
ご覧ください。

①～③いずれも参加無料、要申込み、先着順です。
当館ホームページよりお申込みください。
※状況により、イベントを休止する場合がございます。

① 講演会 要申込み

「近代日本の百貨店建築史

ルネッサンス・セセッション・アールデコという
美意識の変容」

■講師 = 川島智生氏

(京都華頂大学現代家政学研究所教授)

■4月10日[日] 13:00~14:30

■会場 = 多目的ルーム

■定員 = 15名

② 講演会 要申込み

「百貨店からみる近代都市・大阪の歴史」

■講師 = 高岡伸一氏

(建築家・近畿大学建築学部准教授)

■6月12日[日] 13:00~14:30

■会場 = 多目的ルーム

■定員 = 15名

③ 高島屋東別館建物ツアー 要申込み

■講師 = 加藤雅久氏 (居住技術研究所主宰)

■4月3日[日]・6月5日[日] 各日2回開催

10:30~12:00 / 14:00~15:30

■定員 = 各回10名

学芸員によるギャラリートーク

■会期中の毎週土曜日 14:00~(約30分)

※お申込み不要、開始時間までに企画展示室にお集まりください。

重要文化財・高島屋東別館(旧松坂屋大阪店)

1966(昭和41)年、松坂屋が天満橋へ移転後、その建物は1968(同43)年に高島屋東別館となり、往時の姿をほぼ保ったまま存続してきました。2020(令和2)年、建物の歴史的価値を守り継ぎながら、リノベーション工事を完了。2021(同3)年8月、国の重要文化財に指定されました。

高島屋が保存してきた貴重な建築遺構・部材の数々を展示公開します。



柱ダクトグリル



柱型頂部飾り



高島屋史料館展示室奥のエレベーターホール(常時公開)



【アクセス】 南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分
近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分
※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【住所】 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25 高島屋東別館3階
TEL. 06 (6632) 9102



<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>